



# わかば

2018. 10. 6  
第18-23号  
文責 校長 信國 寿敏

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

## 重点目標 一人一人が輝く教育 ～期待登校・満足下校～

本日、通知表を配布いたしました。・・・子どもたちは、しっかりと頑張っています。

本日、通知表を配布しました。子どもたちや保護者の皆様には、やはり一喜一憂する通知表かと思えます。一般的に日本国内では、「通知表」は、児童生徒個々の学習指導の成果、学校生活の状況、健康状況等を保護者に連絡し、保護者が児童生徒の学校生活の状況を知るための連絡簿ですが、本校では、細やかな学校生活や健康状況までとはいきません。

本校では、定期テストや単元テスト等の結果をもとに、到達度評価で作成しています。他の児童生徒の成績やクラスの平均点等とは関係なく、お子様本人の学習結果と学習に取り組む姿勢、態度で評価し作成をしています。

お子様方は、現地校に通いながら土曜日に本校に来てしっかりと頑張っています。ぜひ、通知表を励ます手がかりにしたり、本人にも保護者様にも、今後に向けた課題を捉える機会にしたりしていただければと思います。

なお、本年度の通知表改定に伴い、昨年度までの文言や形式が異なっています。また、中高等部は、後期に表紙とともに、校長、担任の押印をいたしますので、今回はございません。



### 平成30年5月12日付 「通知表の改定について」のお知らせ文書の抜粋

1. 小学部国語：「日本語の理解」、「国語への関心・意欲・態度」、「授業を受ける姿勢」の3項目から、「日本語の理解」、「宿題・課題の提出」、「授業態度」の3項目に変更する。
2. 小学部算数：「算数への関心・意欲・態度」、「授業を受ける姿勢」の2項目から「宿題・課題の提出」、「授業態度」の2項目に変更する。
3. 中高等部国語：「日本語の理解」、「国語への関心・意欲・態度」、「授業を受ける姿勢」の3項目から「課題・提出物」、「授業態度」の2項目に変更する。
4. 中高等部の通知表は前期と後期を別冊子とし、前期終了後の通知表の返却を省略する

### いらぬ物を持って来ています。(学校のきまり)・・・ゲームカード類

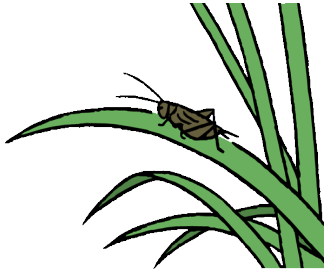
スクールバス内でゲームカードを交換したり、学校に持って来たりしていると聞きました。先週は、実際に学校内で、ゲームカードを手にして歩いていた子がいたので、「もう持って来ないように」と注意をしたところです。

つつい遊んでいたゲームカードなどをポケットに入れ忘れ、学校に持って来てしまうことはあるかと思いますが、交換によるトラブルや紛失などもあり得ます。

先週、小学部は、各学級で生活指導をしています。

各ご家庭でも、ご留意いただければ幸いです。





# 児童生徒の作品紹介 17

今回は、2年生のバザーに関する作文、4年生の「秋の風景」からの俳句、5年生の「明日をつくるわたしたち」からの提案文、そして、中学部2年の「盆土産」を読んでの感想文をご紹介します。

校長 信國 寿敏

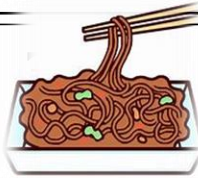


## 【2年 作文】 バザー

上田 楓

わたしは、日本人学校のバザーに行きました。いっぱいおもちゃを買いました。わたしは、買いものをするのが大好きです。

バザーでかわいいぬいぐるみとお母さんとわたしのネックレスとおばあさんのバッグを買いました。ぬいぐるみにレインボーと名前を付けました。バザーはたのしかったです。また、バザーに行きたいです。

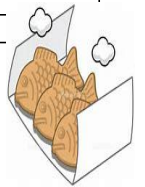


バザー

奥川 文



「やったー！」とぼくは、さげびました。今日はたのしみにしてきたバザーの日でした。バザーは、お昼からはじまりました。まずはじめに、つばさくんとおもちやを買いました。つぎに、ジュースを二本かって、かきごおりを二つたべました。かきごおりは、とてもおいしかったです。そのあとは、やきそばを3ばいたべておなかいっぱいになりました。やきそばは、ぼくの一ばんのお気に入りです。とても楽しいバザーでした。



## バザー

青島 海

ぼくは、バザーに行きました。たこやきとかきごおりとたいやきとわたあめとやきそばを買いました。おいしかったです。ぼくのおとうとのおもちやも買いました。おとうとはとてもよるこんでくれました。

おこづかいをおかあさんからもらって、自分の好きなものを買って、たのしかったです。来年のバザーも今からたのしみです。



たのしかったバザー  
ファウラー 峰花



わたしは、日本人学校のバザーを友だちと歩きました。友だちとおそろいのキーホルダーを買ったり、ソーセージをたべたりしました。バザーでわたしが大好きな本を買うことができてうれしかったです。でも、バザーの時間は、一時間だけなので、ちょっとかなしかったです。また、来年もバザーへ行きたいです。



前回21号で、ものすごく食べた高学年児童の記事を掲載しましたが、負けず劣らずの2年生がいたようです。弟のためにおもちやを買ってあげたり、仲良しとおそろいのキーホルダーを買ったりする時間は、まさに幸せな時を過ごしていたものと、文面からもしっかりと伝わってきます。

ネックレスやバッグなど大切な人へのプレゼントにもなる品々があり、だれもが来年のバザーを期待しています。子どもたちの満足を提供いただいたバザーの関係の皆様、ありがとうございました。

## 【4年 俳句】

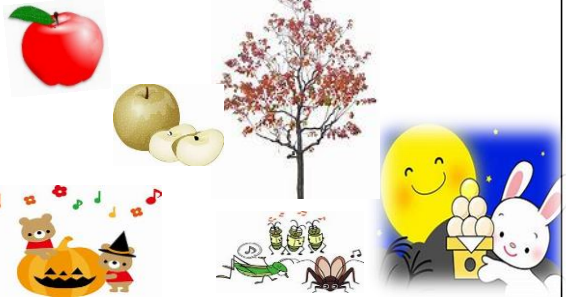
秋になる どんぐりがある あちこちに  
新米が たくさんできて うれしいな  
丸いくり ころころと ころがるよ  
まつたけは とてもおいしい うれしいな  
コスモスが きれいにさいて いっぱいだ

生田 花  
古屋 尊  
鈴木 音瑛  
カーステンズ 篤太郎  
河合 夏怜



あまずっぱい かおりがいいね 赤りんご  
 コオロギの えんそう会だ 楽しいな  
 なしのジャム 家族で作って いいにおい  
 ハロウィンはおかしをたべて おいしいな  
 お月見だ 空にボールが うかんでる  
 夕紅葉 色とりどりで きれいだな  
 金木犀 風がにおいを 連れてくる

吉良 有由  
 桑原 優奈  
 林 和夏  
 河合 彩花  
 室井 和美  
 竹内 美海  
 二宮 蓮



【担任 ジンケ先生のコメント】

教科書に載っている季節の言葉だけでなく、国語辞典などで季語を調べさせ、生徒達が一番身近に「秋」を感じられるものを、自分の経験と結び付けて書かせました。すると、見事にテーマがバラけました。夏の俳句では「すいかわり」という同じ季語を使って書かせましたが、今回は自分たちで選ばせたので、個性が出ていて面白いなと思います。

ちょうど学級訪問時に、導入段階の授業を参観する機会を得ました。日本の秋の風景になじみが少ない子どもたちのために、地元静岡での棚田の風景(田んぼ、あぜ道、稲穂干しなど)や秋の花(コスモス、彼岸花など)の画像を見せられていました。画像や季語調べの取り組みが子どもたちの秋のイメージを膨らませることにつながり、素晴らしい俳句となりました。



【五年 提案文】

部活を作ろう



飯田 カンナ

日本人学校をよりのしくするために、「部活を作る」ということについて、具体的な案を提案する。

1 提案するきっかけ

わたしの前の日本人学校では部活があつて、すごく楽しかったし、部活があれば他の学年とも仲良くなれるからです。

勉強でつかれた思った時に部活ができるのは、すごくいいと思う。

しかし、この学校には、ここ何十年も部活がないそうだ。だから作ってはどうか。

2 提案

学校の教育委員や校長先生に話をする。みんなに「部活を作ろう」などのピラを配る。

学校の教育委員や校長先生などに部活を作ったらどんな事がいいかなどを伝える。

学校の朝や帰りに「部活を作ろう」などを、具体的に書いたピラを配る。

「部活を作る」という点で、できる事として、このことを提案する。

【五年 提案文】

日本語ともっと身近になろう



彦坂 奈津美

今アメリカに住んでいる私たちには、日本語をより身近にする必要があります。そのためには、日本語を話すだけではなく、読む事がとっても大事だと思います。本を読む時間を増やすということについて、具体的な案を提案します。

家で日本語の本を読む機会が少ない人は、日本人学校での読書時間が大切になります。それなのに、たったの十分だけでいいのでしょうか。私は、せめて、二、三十分は必要だと思います。

もし、家で読まないとして、一週間に二、三十分は物足りないかもしれませんが、一文字も読まないのよりはましです。そして、アメリカに住んでいる年月がたつにつれ日本語をいじっていくのが大変になります。そのために、日本人学校でのちょっとだけの読書時間も、大事になってきます。そして今年は、夏休みが多い分、六時間授業の日も多くなっています。六時間授業の日は、読書時間がありません。さらに、六時間授業の日は、現地校が休みの時が多かったので、本を読む機会がもっと少なくなります。なので、ふつうの五時間授業の日は、読書時間を二、三十分、六時間授業の日は、せめて十分にするのはどうでしょうか。

日本語をいじっていくためにという点で、できることとして、このことを提案します。



5年生の貴重な提案、本当にありがとうございます。勉強以外のことに興味を持ったり努力したりすることは、これから生きるための広義の学力ととらえて考えることは大事です。

一方、実際に部活を行うためには、人や時間、場所などの確保に加え、その費用などをどうするかなど、たくさんの解決しなければならないことがあります。学校の特色づくりとしては、実によい考えと思います。

また、日本語習得のためには、興味深い本を読んだり、話したりすることがとっても大事です。提案に大いに共感をしています。授業や宿題でも「音読」を重視していますが、はっきりとした発音や読むことで理解を深めたり、本や文章の面白さ楽しさにもつながったりします。

来年度の授業づくりの参考にしたいと思います。

### 【中学部2年「盆土産」から 感想文】



モーガン スーザン

私がいちばん心に残った場面は、96ページ  
の三行目に少年が、

「ばためぐなじゃ、こりやあ」

と雑魚にどなりつけたところです。そこを  
選んだ理由は、父親への愛情がうまく表現  
されていると思ったからです。

少年が川でお盆に帰って来るお父さんの  
ためにせっかく魚をつつていているというの  
に、その魚が動き回って逃げだそうとして  
いるので、少年はかっとなっておこってし  
まいました。でもそれは、もともと父への  
愛情から生まれたものです。

また、方言の使い方がかわいらしく、時  
代と場所もよくつたわります。



下村 恒平

私がいちばん印象に残った場面は、お父  
さんが寝るのを寸断して、土産のえびフラ  
イを冷やし続けるところです。子供達が初  
めてのえびフライをおいしく食べるられる  
ようになどと鮮度を約九時間保つというこ  
とは、相当子供達のことを愛している思い  
やりがあり、いい父親の優しさに心を打た  
れました。

「盆土産」を読んでから、この話の中の  
お父さんだけではなく、自分のお父さんも  
子供達のためにがんばっているんだと思  
いました。



石井 理奈

私がいちばん印象に残った場面は、家族  
がみんなでえびフライを食べるところで  
す。現代の私達は、昔と比べて便利になっ  
たし、私達の方が幸せな生活をしている。  
しかし、この単元で本当の幸せを知っ  
た。食卓を囲んで楽しそうに会話し、えび  
フライを食べる少年と家族の姿を想像して  
みると、少しうらやましくなっただけだ。

この話では、方言が使われているそれ  
は、どこであった話か一瞬で分かるという  
効果もあるが、家族が心を通わせているこ  
とを示している。家族が方言で話すことか  
ら、お互いへの愛情を感じられる。

### 【教科担任 ドールズ先生のコメント】

「盆土産」という一昔前(50年位前)の東  
北地方を舞台にした物語文を学習して、印  
象に残った場面を書きました。時代を超え  
て、永遠のテーマである「幸せ」について  
考えさせられた単元です。



作品の構成や登場人物の描写に着目し  
て、人柄や心情を読み取ることが学習の目  
標です。人の優しさや温かさなどをしっか  
りと生徒たちは味わったようです。

場面を想像しながら読むと、家族愛が伝  
わり心にじ〜んと来るものがありました。

参考 「盆土産」 作者 三浦 哲郎 1931~2010 青森県出身

○ 東京に出稼ぎに出ていた父が盆土産に持って帰って来るという「えびフライ」。きつととびきりうまいものに違いない。その未知の食べ物の事で主人公の少年は頭がいっぱいで、朝から父のための川魚釣りをしているにもかかわらず。おまけに「えびフライ」と発音しようとしても、どうしても「えんぴフライ」と訛ってしまう。・・・